

## 8 2. 仙北街道<sup>せんぼくかいどう</sup>

選定箇所：下嵐江（岩手県奥州市）～手倉御番所跡（秋田県東成瀬村）

概要： 岩手県南側と秋田県とを結ぶ重要な道で、江戸時代初めに幕府へ提出された正保国絵図では、同区間の道としては仙北街道のみが記されている。

手倉には番所が置かれ、横手城から藩士が<sup>よこて</sup>出向いていた。岩手県側では「仙北道」「手倉越」、秋田県側では「仙台道」「水沢道」などとも呼ばれていた。



写真提供：佐々木孝男氏